

# INFORMATION

## 紙の需要動向について

当社は板紙を主力販売商品とする紙の商社ですが、紙と言っても様々な種類があり紙全体の需要について日本製紙連合会によると2019年の洋紙と板紙の国内需要は、2571万tになる見通しだと発表されました。

前述しましたように、一口に紙と言っても色々な種類があり、需要が増加しているものもあれば、減少しているものもあります。

それでは種類別（洋紙・板紙・衛生用紙）に見ていきましょう。

洋紙には、新聞用紙、印刷用紙、情報用紙などがあり、1354万6千トンの需要と見込まれていますが、近年の電子化の進展を反映し出版の部数やチラシの減少が影響して印刷・情報用紙は4%減少し、新聞用紙も6%減少する見通しとなっています。

板紙には、段ボール原紙、パッケージ用板紙などがありますが、1216万4千トンと予測されており、年々増加しています。

EC市場（通信販売向け）の段ボールの需要が牽引し、段ボール原紙は年々少しずつ増加し今年の需要予測は過去最高になります。

パッケージ用板紙は、食品向け、インハウンドの需要を受ける、医薬品、化粧品向け、土産物等で安定的に堅調な需要予測になっています。また、環境問題による脱プラスチック化も加速しており、当社の得意分野の板紙は、今後も堅調に増加傾向であると予測されています。

特にパッケージ用板紙販売については、県内同業者のトップランナーであると自負しているので、今後のビジネスチャンスも確実に捉えていきます。

最後に衛生用紙（トイレトペーパー・ティッシュペーパー等）ですが、こちらもインバウンド効果と衛生意識の高まりから底堅い需要予測がされており、本年のラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック、2025大阪万博のインバウンド需要、ホテル・商業施設等の業務用需要の増加により堅調な傾向は持続すると考えられています。